寄付者ご芳名

（）は旧姓　数字は卒業年

○母校教職員
○藤川侃二校長
○内藤　伸教頭
○菊池康夫前教頭
○寺井　敬先生
○山下幸則先生
○杉田佐紀子先生

○昭和20年卒業まで
8出治孝子10安達清子・中村照子13田崎泰子・長野佐喜子14星美代子・二組の有志16永坂秀子18松本チエ・佐野潤子・市村月子19濁川久美子（高野）20原田明子・平田ツネ・笠原京子

○昭和21年～29年卒業
25藤木千代子・三浦カズ子（田中）・森山昌枝26坂本蓮代・鳴戸錦子・寺島貞子・片岡君江・森敏子・西島由恵・百留和代　29大塚英祐・牛山朝子・内山恵一・佐藤道雄・湯浅暉子（鈴木）・竹内務

○昭和30年～39年卒業
30清水京子・松本恭二子（鄧井）鈴木とき子（木之本）・植田ふき・河野芳彦31市瀬千恵子・長谷川隆男・大橋愛恵（阿部）33浜中明子（肝付）・伊藤君子34西山道子（羽島35津川明子36平野節子38矢内和明39井上武・斎藤悦子・須磨清子

○昭和40年～49年卒業
40加藤節子41丸山美宋子・石井秀男42草野ムツ（極沢）・嵯峨ナリ子（沢田）・徳江義弘・滝口哲夫43斎藤至44田中聡光・小林明美46松本英也（森）47赤羽とみ子（中村）49有坂律子（福川）

○昭和50年卒業以降
55田中美佐子56鈴木英次59斎藤静代・小杉利一

◇運営費金カンパのお願い

毎年お願いしておりますが会員の皆様から寄せられた貴重な寄金は会計報告にある通りです。卒業生数からみるとまだ微々たるものです。

この同窓会活動をご理解いただきご協力お願い致します。

同期会便り

昭和37年度卒　三年一組　板倉栄子（旧山本）

突然のクラス会通知を受け取った時胸中はなつかしさと二十余年の空白がどの様にあの当時と変っているか想像もつかない思いが一日も早く級友に逢いたいという気持にかり立てられました。十一月二十三日。あの薄暗い田町駅も今では活気ある若者達の街に変ぼう慶大の徽章に胸をときめかした十代の日々を思い出しながら二田通り歩きました。会場に入ると高校当時と少しも変らぬクラスメイト達の顔触れが続々といっても七人のメンバーと担任であった松本先生でした。乙心に松本先生の光った美しい肌とソプラノを弾ける細い高い声がとても印象に残っていましたが再会の今日も少しもお変りなく透明感のあるお肌が光っておりました。一人一人が近況を語り合う姿はどの方も存在感があり自分の歴史をつくられ生き〳〵していることに私は感銘を覚えました。高校時代のある意味のねばり強さが一人一人をこんなに力強くたくましく支えてきた様な気がしてなりませんでした。こうした私達を導いて下さった松本先生は現在も尚新しい分野に挑戦される意欲と納得した日々を送られている御様子から活力と内面の充実さが今更に健康美を維持されている根源なのだと、再確認したような気がします。いつまでも私達の先生でおられる事を誇に。又今年は一人でも多くの友が出席されることを願い十一月二十三日を楽しみに待っている一人です。

バスケット部OB会　柿原一夫（42年卒）

五年前、十九回卒業生同期会の祈、当時体育教科担任でバスケット部の顧問をされていた寺師節子先生と同席させていただきました。いろいろな話の中で「五年以内にバスケのOB会をやろうよ」の一声が今回の火付けになった訳です。幹事役を引受けた佐藤博さん、皆川茂さんも、約束にしたものの五年間は矢のように過ぎ、いよいよ今年五月に期日を迎え、以前より、石関先生にお願いしてあったバスケOBの名簿を叩き台として一夜の新名簿が出来上りました。出来る限り、手をつくし先輩部員の協力を得て、やっと五月三十一日に会開催に漕きつけました。時の経過で現住所をつかむのがむずかしく皆さん大変苦労したようです。なんとか十六名程の人達と連絡かとれ寺師先生にもご出席の快諾を得ることができました。

当日、午後七時に開会の所六時頃にはすでに数人の方々が集まり、顔を合せるなり、頭をくしゃくしゃにして「なつかしい」の一言、それぞれ大感銘しておられました。この十数年すべてのものが変り、お互に年をとったが、コートで共に汗を流した仲間の話はつきることなく、時の立つのも忘れ、店の予約時間も、とうに過ぎても帰宅する人もほとんどなく、幹事泣かせの会となってしまいました。あげく二次会で深夜まで語り合い、今ではおじさん、おばさん達も、その夜限りは十七、八才に戻り、歌など唄ったりはしゃぎ廻ったのです。現実に戻れば再び合う事も仲々むずかしいとは承知の上で口々に来年またやろうよ」と再会を約束し、散会しました。とにかく懐しい皆さんに逢うことができてよかった。

末筆ですが、ご多忙の折、ご出席いただいた顧問の寺師先生、名簿作成にお力添えをいただいた石関先生、幹事役の佐藤、皆川両氏にお礼と共に深く感謝申上げます。

昭和44年卒業生　明石照男　幹事代表

昨年一月、我々昭和四十四年卒業の仲間が渋谷・中華飯店を会場に卒業後初めて、十六年ぶりの同期会を実施した。

発端は一部の仲間との語らいの中から、冗談で出た話が実現した。

何にをするにもすべてが初めてであり、まず名簿の作成着手した。卒業時の名簿を中心に、幹事のメンバーが昼夜を問わず電話で確認する。一人、一人と卒業仲間の所在が判ると後は枝葉の如く裾野を広げて、名簿をうめていく。結果として確認できたのは、卒業生百二十一名中八十余名と十六年間の空白が大きく影響していた。仲間の住所も当時は三田高を中心に都内在住であったものが、千葉、埼玉、神奈川と分布している。

そして所在の判った八十余名に同期会の開催通知を送り出席を確認する。その間に幹事のメンバーが何度も会合を重ね、当日の内容の検討等を行い当日を待った。

第一回同期会の出席者は石関、木下両先生をはじめ、同期の仲間が五十余名参加するという盛況であった。

十六年ぶりの邂逅で話もはずみ、当時の話から現在の話へと花が咲き、話題がつきず二時間の予定が三時間の予定としてしまう。その間に記念撮影をしたり、記念品や新しい名簿の配布等をして一次会を終らす。それでも多くの仲間が二次会・三次会へと場所を変えて、夜が更けるのも惜しみつつ再会を誓って別れた。

後日、写真を出席者へ送付したり、遠方の為出席できなかった仲間にも記念品を送るそして幹事らが再度集まり反省会を行ったが、皆満足感と充実感にあふれ、良かったと思っている。今回の同期会を機に二年毎に第二回、第三回と回を重ねて同期会を継続して、仲間の輪を広げたい。

○現住所をお知らせ下さい

「ともかき」を送って来ない、見たこともない、という方が沢山います。現住所がわかっていれば必ずお送りしますので都立三田高等学校内青葉会宛お知らせ下さい。転居の場合、地名呼称、表記が変っている場合。結婚されて改姓された場合なども必ず旧姓を書き添えてお知らせ下さい。

○病院用経管チューブ食
○濃厚流動食等特別配合食品
○Food Supplement 製造卸

サンコーパック株式会社

代表取締役　川上忠重　（昭和30年卒）

東京都新宿区四谷1丁目3番地
〒160　TEL03－357－7730㈹

紙のことなら
イオカワ紙店へ

株式会社
五百川紙販売

代表取締役　五百川　武　（昭41卒）

〒108 東京都港区白金1丁目21－4
TEL　03（446）5571（代表）

石田技研株式會社

代表取締役　石田　弘　（昭29卒）

〒144 東京都大田区羽田旭町1－1
TEL　03（744）2211（大代表）